委員会レポート

委員会の行政

建設水道委員会

▲水道管など幅広い分野に使用されているダクタイル鋳鉄管について調査しました（尼崎市）

平成27年11月4日～6日
兵庫県朝来市「道路整備と茶すり山古墳保存の両立」
兵庫県尼崎市「ダクタイル鋳鉄管の製品・技術説明と(株)クボタ阪神工場見学」
大阪府大阪市「水道事業のアセットマネジメントの現状と取り組み」

朝来市では、近畿地方最大の円墳である茶すり山古墳と北近畿豊岡自動車道の両立について、古墳上にあった当初の道路計画の変更の経緯とその後の道の駅との連携を含めた周辺の文化財、埋蔵文化財センターの活用方法について視察しました。本市の重要課題である高尾山古墳と都市計画道路沼津南一色線の整備両立においても、大いに参考となるものでした。

大阪市水道局・大阪広域水道企業団では、水道施設における給水サービスを継続していくために必要な補修、更新といった施設管理に必要な費用と、そのための財源を算定し、長期的視点に立って経営していくアセットマネジメントについて視察しました。更新需要の算出や将来収支の見通しについて、分析の仕方や今後の課題について学ぶ貴重な機会となりました。

長期的な視点での持続可能な水道施設の管理運営にはアセットマネジメントが必要不可欠です。本市では、今年度中に水道ビジョンが策定される予定であり、この先進事例を活かしていくよう委員会として提言するなど、今後も引き続き調査研究を進めていきます。

沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会

平成27年8月4日～5日
大阪府吹田市　「吹田貨物ターミナル駅(JR貨物)」
兵庫県神戸市　「神戸貨物ターミナル駅(JR貨物)」
平成28年1月20日
東京都小金井市「高架下利用について(JR中央ラインモール)」

吹田貨物ターミナル駅は、敷地面積 27.2 ヘクタール、着発荷役方式で 26 両編成に対応しており、大阪の貨物輸送の拠点であった梅田貨物駅の機能の一部を移し、平成 25 年 3 月に開業しました。設置に当たっては、地元自治体と貨物取扱量、貨物専用道路の設置、環境対策、住民説明等が明記された合意協定を結び、地元住民には環境への配慮として、騒音対策等を実施していました。

神戸貨物ターミナル駅は、全国 26 番目の着発荷役方式の貨物ターミナル駅として、平成 15 年 12 月に開業しました。阪神・淡路大震災の際にはありませんでしたが、隣の姫路駅が動いており、大阪まで物資をトラック便で搬送し、大変有効な手段であったとのことでした。これら貨物ターミナル駅の視察を通して、昨今、叫ばれている関東周辺への地震等の有事の際に静岡県東部に物資輸送の拠点があると、危機管理対策として大変に有効であると実感しました。今後も引き続き事業の推進に向け、取り組みを進めていきます。

JR 中央ラインモールでは、駅部及び駅間における鉄道高架下利用の先進的な取り組みについて視察を行い、大変参考となりました。

▲地域の価値を高めるための高架下利用について調査研究を行いました（小金井市）